



福岡県感染症情報ホームページでは、
感染症発生情報、病原体検出情報などを
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中尾 長藤
直通：092-643-3597
内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第27週（令和8年6月29日～令和8年7月5日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告が2件ありました。本疾患は、主に病原体を保有するマダニに刺されることで感染します。症状は、38℃以上の発熱や、消化器症状（食欲低下、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢）等で、重症化すると死に至ることがあります。草むらや藪等に入る際は、マダニに刺されないように、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出部分を少なくして、忌避剤を使用しましょう。吸血中のマダニを見つけた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科等）で処置（マダニの除去、洗浄等）してもらいましょう。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が9件ありました。本疾患の病原菌は、ベロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌で、症状は、激しい腹痛を伴う水様性下痢、血便、嘔吐、発熱等です。本疾患は、菌に汚染された食品等の摂取のほか、患者便に含まれる菌が手指を介することによっても感染します。調理の際には、食品を十分に加熱（中心部が75℃で1分以上）するとともに、調理用と食べる箸等を使い分けましょう。また、手指を介した感染を防ぐため、調理前、食事前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	11	410	213	7,058
腸管出血性大腸菌感染症	9	79	123	1,354
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	2	4	7	90
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	33	17	491
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	20	8	295
多剤耐性緑膿菌感染症	1	6	5	86
梅毒	15	354	172	5,610
百日咳	7	153	66	3,488

■ 定点把握疾患報告数

警報

注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	433	3.55	1.22	4,044	1.08
インフルエンザ	2	0.02	0.22	310	0.08
急性呼吸器感染症	6,410	52.54	0.98	176,883	47.47
RSウイルス感染症	69	0.99	1.23	764	0.34
咽頭結膜熱	49	0.70	0.98	1,220	0.54
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	192	2.74	0.85	5,076	2.25
感染性胃腸炎	409	5.84	0.85	10,373	4.60
水痘	46	0.66	1.15	949	0.42
手足口病	607	8.67	0.92	10,396	4.61
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	135	0.06
突発性発しん	23	0.33	0.62	759	0.34
ヘルパンギーナ	175	2.50	0.88	2,592	1.15
流行性耳下腺炎	4	0.06	1.00	119	0.05
急性出血性結膜炎	2	0.08	-	4	0.01
流行性角結膜炎	18	0.69	0.69	308	0.44
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	19	0.04
マイコプラズマ肺炎	4	0.27	1.33	108	0.22
クラミジア肺炎	0	0.00	-	4	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	14	0.03